

リベラルソリューション

宮城県亶理町で風力発電

設備設置 居住困難地域を活用

小型風力発電 電事業に着手する。東
・太陽光発電シ 日本大震災による大津
ステム事業を展 波で甚大な被害を受け
開するリベラル た同地区17世帯の所有
ソリューション する居住困難な土地を
(本社・東京都 購入。デンマーク製の
目黒区、社長・ 風力発電設備9基を設
下田穰氏)は宮城県亶 置し、「再生」させる。
理町長瀬地区で風力発 同地区は危険区域に

指定されていないが被
害状況は同様にひど
く、25世帯が暮らして
いた住宅街は居住不可
能な状態となってい
る。同社は地権者代表
から相談を受け跡地の
活用を検討。地形的に
風に恵まれていること

などを考慮し風力発電
事業用地としての活用
に至った。

リベラルソリューション
は今回、デンマー
ク・ソリッドウィンド



出展ブースに展示された風力
発電設備の模型

パワートと風力発電設備
の輸入販売・建設・保
守を目的とした販売店
契約を締結。固定翼の
「ストール制御」や制

振ダンパーの採用など
で世界屈指の安全性と
静粛性を持つ小型風力
発電設備「SWP-19
・8kW」を設置する
に至った。

総発電量は約505

メガワット。3月1日から売
電事業主となる企業の
選定作業に入り今年7
月に着工する。年間売
電収入は約308万円
を見込んでおり売電収
入の一部は同町の復興

支援事業に活用され
る。風力発電のほか太
陽光発電設備も設置す
る予定。同社では今後、
大手ゼネコンと他の被
災地での事業展開も検
討していく方針。

先日、東京・有明の
東京ビッグサイトで開
催された展示会「第5
回国際風力発電展」で
は下田社長のほかソリ
ッドウィンドパワーの
カーステン・ラウリッ

ドセンサー兼CE
Oが意気込みを語った
ほか被災地の現状につ
いて地元地権者の説明
が行われた。